

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標7_行財政運営】

施策 7-2_開かれた市政の推進

基本計画		事業番号	細事業名称
7-02-01	コミュニケーション型広報の推進	02133_01	広報推進事業
7-02-01	コミュニケーション型広報の推進	02434_01	全国「にいはま倶楽部」推進事業
7-02-01	コミュニケーション型広報の推進	02473_01	走る広告塔事業
7-02-02	情報提供メディアの複合的な利活用	01012_01	議会広報事業
7-02-03	対話型広聴の推進	02617_01	広聴機能強化事業

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	02133_01		
事業名(行目名称)		広報推進費	細事業名	広報推進事業				
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	開かれた市政の推進				
	基本計画	コミュニケーション型広報の推進	担当課	シティプロモーション推進課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民ほか		数値	121,211人			
	手段(どうやって)	広報紙、CATV、インターネットといった多様な媒体を活用し、市の主要プロジェクト、各施設の紹介、各種イベントなど市政に関する情報発信を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	広報紙、CATV、インターネットといった多様な媒体を活用し、市の主要プロジェクト、各施設の紹介、各種イベントなど市民に役立つ市政情報を、分かりやすく情報提供する。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		14,974	17,499	17,499	18,019	○職員手当等 488千円 ○報償費 8千円 ○旅費 108千円 ○委託料 15,455千円 ○使用料及び賃借料 1,398千円 ○負担金補助及び交付金 42千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	1,109	1,108	1,108	1,043			
	一般財源	13,865	16,391	16,391	16,976			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
LINE、TwitterなどSNSの登録者数(人)			目標値	20000	20000	20000	20000	20000
			実績	14539	30306	34179	36,278	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
情報発信については、担当課によって運用に偏りがあり、より効果的に情報の発信が行えるよう各担当課に分かりやすく、かつ積極的な広報活動を依頼する必要がある。また、現在活用している各種SNSについては、さらなる登録者の増加を図る必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
昨年度リニューアルしたLINEを中心に現状の広報ツールを有効に活用し、より適切な広報活動事業を継続して実施していく。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
広報ツールの中心として活用するLINEの機能について、生活の中の「移動」をより便利なものとするため、市公式LINEの基本タブのメニューに公共交通機関などの情報を取得するための交通情報のボタンを追加し、利用者の利便性の向上及び利用登録者の増加を図った。今後も登録者の増加を図るために事業を継続して実施していくことが適当と思われる。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	02434_01		
事業名(行目名称)		人材ネットワーク形成事業費	細事業名	全国「にいほま倶楽部」推進事業			
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	開かれた市政の推進			
	基本計画	コミュニケーション型広報の推進	担当課	シティプロモーション推進課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全国「にいほま倶楽部」会員		数値	505人		
	手段(どうやって)	会費無料、市政よりは希望者のみに送付し(郵送料別途徴収)、会員全員に年4回程度さまざまな地域情報をまとめて送付。会員特典制度として、会員証を発行し、新居浜市内の協賛事業所での各種優待サービスを実施。また、情報交流会を開催(東京・大阪・松山)。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	会員数の増大を図り、広い視野からの新居浜のまちづくりへのアドバイス・支援など、「市政の応援団」になっていただく。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		646	1,607	1,607	1,584	○報償費 80千円 ○旅費 449千円 ○需用費 187千円 ○役務費 501千円 ○委託料 110千円 ○使用料及び賃借料 280千円	
財源	県・国支出金	323	610	610	578		
	地方債		0	0			
	その他	13	13	13	12		
	一般財源	310	984	984	994		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
全国「にいほま倶楽部」会員数		目標値	561	550	625	600	1491
		実績	505	530	1277	1452	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>昨年度、新型コロナウイルスの感染拡大のため中止となった交流会については、今年度11月(松山)1月(大阪・東京)で実施する予定である。コロナの状況をみながら、感染対策を徹底した開催が必要となっている。また、本年度より、ふるさとにいほま便学生支援事業を通して、学生版全国「にいほま倶楽部」を設立したことから、学生の参加に重点を置いた交流会の開催を目指す。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
<p>令和5年度以降は、ふるさとにいほま便学生支援事業、新居浜情報定期便事業との統合を予定しているため事業を拡大したいと考えており、関係人口増を目指し、更なる会員の増加とネットワークの強化につなげていく。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>令和4年度は、ふるさとにいほま便学生支援事業と連携し、学生版全国「にいほま倶楽部」を創設することが出来、若年層の会員獲得に成功した。また、交流会についても、愛媛交流会では、企業説明会を交流会の前に開催するなど、多くの学生に参画いただける企画を行った。引き続き、ふるさとにいほま便を実施し、さらなる若年層会員獲得を行うとともに、就職情報や若者向けの話題等の定期的な発信、交流の場を設けることで、地元への愛着を深めてもらい、多くの方のUターンに繋げていきたい。</p>							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	02473_01		
事業名(行目名称)		走る広告塔事業費	細事業名	走る広告塔事業			
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	開かれた市政の推進			
	基本計画	コミュニケーション型広報の推進	担当課	シティプロモーション推進課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	運行経路沿線住民		数値	—		
	手段(どうやって)	長距離バス・長距離トラックの側面を広告スペースとして活用し、新居浜市のPR写真等(太鼓祭り、別子銅山産業遺産等)をラッピングし、その車両が全国を往来する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市のPR写真等をラッピングした車両(長距離バス・長距離トラック)が全国各地を往来することで、全国の人の目に留まり、新居浜市をPRできる。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,188	3,784	3,784	0	○委託料 3,784千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,188	3,784	3,784	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
バス・トラック稼働日数(日) ※(R3まで)バス:2便/日(神戸・大阪方面) トラック:250日/一社あたり (関東、関西、中越、中部、東海、九州方面)			目標値	1980	1980	-	1250
			実績	1897	1597	-	894
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや低い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>本事業のラッピング車両については、県内外を問わず広範囲において運行しており、デザインも新居浜を代表する祭りや東平の産業遺産などを用いて本市のアピールとしての広告効果は高いと思われる。今後再ラッピングを実施する場合は、市の情報に触れる機会への誘導策なども検討する必要がある。また、協定締結当初から5年以上が経過した3車両について、今年度協議を行い、事業継続について確認を取ることが出来た。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>来年度は、森実エクスプレス株式会社、一宮運輸株式会社との2社がラッピングの更新予定である。本事業についてはシティプロモーションや観光宣伝に資する部分が多いため、観光部門とも協議しより効果的な実施を検討する必要がある。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
<p>運行車両の内、既に対応年数が経過しているものについても、損傷や補修に関する要望等の協議がなかったことからラッピングの張り替えは行わなかった。なお、市外に向けたPRについては、実施方法等(事業内容・事業主体)見直しの時期にきていることもあり、令和5年度については、ラッピングの剥離料のみの予算計上としている。</p>							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	01012_01			
事業名(行目名称)		議会広報事業費	細事業名	議会広報事業				
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	開かれた市政の推進				
	基本計画	情報提供メディアの複合的な活用	担当課	議事課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	118,103人				
	手段(どうやって)	1 ケーブルテレビにより本会議の生放送と録画放送を実施する。<録画放送>1回目は議会開催日翌日の18時から録画放送する。2回目は議会閉会日の1週間後8時から、3回目は2回目終了翌日20時から放送する。2 インターネットにより本会議の生放送と録画放送を配信する。<録画放送>議会開催日の翌日の18時から、次期定例会の告示日まで配信する。市政だよりに、市議会だより(議員の一般質問、委員会における審査の内容等)を掲載する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	CATV放送に加えて録画放送及びインターネットによる映像配信を実施することにより、昼間働いている市民が視聴できる機会を増やして、議会に対する関心度を高める。平成26年度より継続して市議会だよりを作成し、議員の一般質問、委員会における審査の内容などを中心に市政だよりに掲載することにより、市民に広く情報提供する。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		3,128	3,592	3,592	3,121	○需用費 1,334千円 ○委託料 2,258千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	3,128	3,592	3,592	3,121			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
YouTube視聴数			目標値	5000	5000	2500	5000	5000
			実績	2208	2126	1347	2747	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>本会議の生放送の実施により、傍聴に来ることができない方も、市議会本会議を視聴することができることも、コロナ禍の中、感染拡大防止を図ることができる。また、CATV録画放送の実施により昼間に生中継を見ることができない市民の方も議会放送を視聴することができる。更に、CATV未加入の市民及び市外在住の方についても、インターネット放送の実施により定例会や臨時会を視聴することができ、多くの方に議会の内容を周知することができている。平成26年度より継続して、議案の議決結果や議員の一般質問、委員会における審査の内容などを中心に市議会だよりに掲載することにより、市民に広く情報提供することができる。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
<p>市民を代表する議決機関として、公正性、透明性を確保し、市民に開かれた議会としていくため、引き続き本会議の中継を継続する。更には、市民の議会活動への認識を深めていただくために、令和5年度から決算特別委員会及び予算特別委員会の放映開始を予定したい。市議会だよりの発行については継続して実施するとともに、今まで以上にわかりやすく、市民の関心度を高めるために内容について見直しを検討する。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>CATVの録画放送及びインターネットでの本会議映像配信の実施により、定例会や臨時会を傍聴及び生中継で視聴できない市民が視聴することができ、議会の内容について周知するとともに関心度を高める有効な手段となっている。また、議会だよりの発行することにより、議員の一般質問、委員会における審査の内容などを中心に、市民に広く情報提供することができおり、議会広報の充実が図られるため、今後も継続して事業を実施する。</p>								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	02617_01		
事業名(行目名称)		広聴機能強化事業費	細事業名	広聴機能強化事業			
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	開かれた市政の推進			
	基本計画	対話型広聴の推進	担当課	秘書課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	115,627人			
	手段(どうやって)	㈱ソフトバンク「地方創生インターン事業TURE-TECH」で提案をうけQRコードから参加できる市政アンケートシステムの構築および啓発用品を制作し、公共施設をはじめ民間事業者にも設置と周知についてご協力をいただきながら市民へ幅広く参加を呼びかける。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	「市の広聴制度をあまり知らない」・「モニター登録や会議出席は時間と手間がかかりそう」などの理由から市政への参加が難しい方、特に若い世代に市政へ関心を持っていただく動機付けとして簡単に参加できるようWEBアンケートを開始する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース ○委託料 806千円 ○負担金補助及び交付金 60千円	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			866	866	696		
財源	県・国支出金		433	433	318		
	地方債		0	0	0		
	その他		0	0	0		
	一般財源		433	433	378		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
アンケート参加人数 (6問×150人)		目標値			300	500	900
		実績			500	1899	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
提案から実施に至るまで、官民の連携と協働による事業として円滑にスタートした大変有効な事業でありWEBアンケートを継続していく予定だが、更に多くの方が気軽に参加しやすくなる工夫(分かりやすいアンケートの内容や更なる協力事業者の拡大)が必要と考える。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
WEBアンケートシステムの構築や啓発用品のデザイン、事業をPRするためのキャンペーンとしてあかがねポイントの付与を行っていたが、次年度以降は損傷・不足啓発用品の追加制作費用のみとして通常業務(経常経費)として対応する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
所期目的どおりWEBアンケートシステムの構築が完了し、一定のPRが図れた。今後は啓発等を行いつつ、安定した運用を図り、広聴手段のひとつとして活用していく。							